

名古屋市環境局の講師対応報告



名古屋自然保護官事務所は、10月3日(水)に名古屋市環境局からの依頼を受け、環境教育の一環として市内の幼稚園・保育園教諭の方々を対象に藤前干潟の自然に関する講義を行いました。

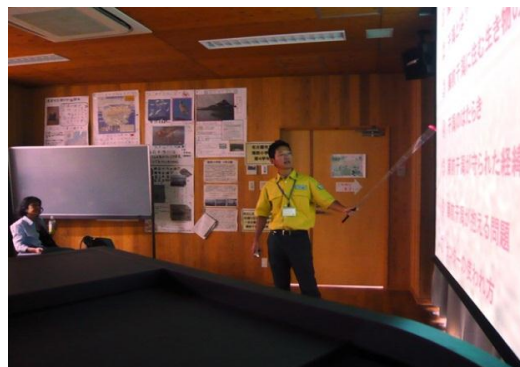
講義内容は藤前干潟の環境特性から干潟の持つ諸機能、埋め立てから守られた歴史、センターの使い方等であり、スライドと映像で紹介しました。

はじめに、大都市近郊でこのような広大な干潟が見られる場所は全国的に見ても大変珍しく、貴重であることを知っていただき、そこにはゴカイやカニをはじめとする多くの底生生物や、それらを食いにシギ・チドリなどの鳥類が飛来する場所となっていることを説明しました。

このような貴重な藤前干潟ですが、過去に埋め立ての危機に瀕したことがあることを、埋め立て計画が出た当時の様子を紹介して知っていただきました。開発後に自然破壊に気づいて環境を守ろうとする取り組みは他の地域でも多く見られますが、藤前干潟のように市民団体がデモや署名活動をして行政に働きかけて、自然環境を保全したケースは日本では希であることを伝えました。

稲永ビジターセンターと藤前活動センターは、干潟の特長や渡り鳥の生態を体験型の展示で学べる施設となっており、幼稚園や小中学校の生徒さんが遠足や社会見学のために訪れる他に、藤前干潟や自然環境に関する勉強会なども行われていることを紹介しました。フィールドが目前に広がる絶好のロケーションですので、バードウォッチングや自然観察会、自然物を使用した工作なども開催されており、センターが環境学習として最適な場所であることを伝えました。

園児の皆さんの環境への理解や関心を深めるため、環境学習に取り組む先生方に、今回の講義がこれからの環境学習の考え方や進め方の参考になればと思います。幼い頃から自然環境を感じる豊かな心を育てていただきたいです。



* 講義の様子（写真上）と館内案内（写真下）

◆概要◆

実施日時：平成 24 年 10 月 3 日 (水) 14:00～15:00
 場所：稲永ビジターセンター
 対象：名古屋市幼稚園・保育園教諭（計 7 名）
 対応：名古屋自然保護官事務所職員 2 名

◆講義内容◆

タイトル	藤前干潟の自然
1. 藤前干潟とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・潮の満ち引きのしくみ ・干潟の多様な環境
2. 干潟に生息する多様な生物	
3. 干潟が持つ機能	
4. 藤前干潟の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの埋め立てから守られた ・ラムサール条約に登録された
5. 藤前干潟が抱える問題	
6. センターの使い方	

2012年10月3日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 上野 淳一